

(施設名) _____

水害時の避難確保計画

通所施設 様式 1

- ・この計画は、水防法第15条の3第1項に基づくものであり、本施設の利用者の水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。
- ・計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、水防法第15条の3第2項に基づき、遅滞なく、当該計画を江戸川区長へ報告する。
- ・この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。
[利用者:(平日) _____人、(休日) _____人 / 施設職員:(平日) _____人、(休日) _____人]

1. 大規模水害(洪水・高潮)を想定した対応

大規模水害

(洪水・高潮)

施設 _____

階 _____

ハザードマップ
大判地図で確認!

何階まで浸水するか

_____ 階

どのくらい浸水が続くか

区外への広域避難が必要になりますので、早めの判断(休校・休所)を心掛けましょう!

休校・休所の判断のタイミング

ハザードマップ
冊子9ページ、大判地図で確認!

(1) 江戸川区からの情報により判断

- | | | | |
|-----|----------------------|-------|-----------|
| [] | 共同検討開始 | | 氾濫発生72時間前 |
| [] | 自主的広域避難情報(広域避難の呼びかけ) | | 氾濫発生48時間前 |
| [] | 広域避難指示 | | 氾濫発生24時間前 |
| [] | 域内垂直避難(緊急) | | 氾濫発生 9時間前 |

(2) そのほかの気象情報・避難情報により判断

- | | | | |
|-----|-----------|-------|---|
| [] | (_____) | |) |
| [] | (_____) | |) |
| [] | (_____) | |) |
| [] | (_____) | |) |

2. 内水氾濫を想定した対応

内水氾濫

施設 _____

階 _____

地下空間

何mまで浸水するか

_____ m

比較して
対応を決めましょう!

ハザードマップ
冊子31ページで確認!

内水氾濫時の「浸水継続時間(どのくらい浸水が続くか)」については、数時間～数日間におよぶ恐れがあります

対応 施設内で安全を確保する

例) 2階以上で避難に十分なスペースが確保できる場合

対応 施設外へ避難をする

例) 1階建の施設で1階が浸水してしまう場合

「いつ」 対応するか

「どこに」 避難するか

施設内で安全を確保する場合は施設内での避難経路を、施設外へ避難する場合は施設から避難先までの避難経路を、「通所施設様式3:避難経路図」に記入しましょう。

3. 避難の確保を図るための施設の整備

(実施要員：)

情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する資器材等については、下表「備蓄品等」に示すとおりである。これらの資器材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

備蓄品等	
情報収集・伝達	テレビ ラジオ タブレット ファックス 携帯電話 懐中電灯 電池 携帯電話用バッテリー () ()
避難誘導 内水氾濫時に 施設外避難を 想定している場合	名簿(施設職員、施設利用者) 案内旗 タブレット 携帯電話 懐中電灯 携帯用拡声器 電池式照明器具 電池 携帯電話用バッテリー ライフジャケット 蛍光塗料 () ()
施設内での 屋内安全確保 内水氾濫時	食料(1人あたり___日分) 食品用ラップ 寝具・寝袋 洗面用具 飲料水(1人あたり___日分) 大人1人当たり1日3リットルを目安 トイレ用品(簡易トイレ、汚物保管用容器、トイレ袋とトイレットペーパー) 燃料(カセットコンロ・カセットガス、固形燃料) ()
そのほか	ゴムボート ロープ ランタン 発電機 発電機用燃料 コードリール 投光機 テント ウェットティッシュ ゴミ袋 タオル おむつ・おしりふき 常備薬 おやつ おんぶひも () () () ()
浸水を防ぐための対策	
土のう 止水板 その他 ()	

4. 情報収集・伝達

(1) 情報収集 (実施要員：)

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集する情報	収集方法
気象情報	テレビ ラジオ インターネット(気象庁HP等) えどがわメールニュース(登録制)
洪水予報・河川水位	インターネット(川の防災情報) テレビ
避難情報	防災行政無線 インターネット(江戸川区公式HP等) エリアメール・緊急速報メール えどがわメールニュース(登録制) 江戸川区公式ツイッター テレビ ラジオ 江戸川区公式LINE 江戸川区防災アプリ

(2) 情報伝達 (実施要員：)

ア) 体制の確立状況、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。

(伝達手段 :)

イ) 休校・休所の決定について利用者に周知する。 (伝達手段 :)

ウ) そのほか ()

5. 防災教育及び訓練の実施

ア) 毎年___月に、新規採用の施設職員を対象に研修を実施する。

イ) 毎年___月に、全施設職員を対象として、情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

ウ) その他、年間の教育及び訓練計画を、毎年___月に作成する。

避難経路図 [内水氾濫時]

